Creative Enzymes®

アジア人参抽出物（標準）

Cat. No. EXTW-020

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	高麗人参抽出物は、ウコギ科のパンナックス属に属する、肉質の根を持つ成長の□い多年生植物であるパンナックス・ジンセング C. A. Mey の根と葉から抽出されます。人参は北半球の東アジア（主に韓国、北東中国、ブータン、東シベリア）にのみ見られ、通常は涼しい気候で生育します。
用途	1. 動きの病気、妊娠、手術後の吐き気や嘔吐を和らげるための高麗人参抽出物 2. 主に冠動脈性心疾患、狭心症、心拍数が□すぎる、速すぎる、心室性期外収縮、高血□障害、神□衰弱、更年期症候群に適しています

製品情報

CAS登□番号	Ginsenoside Rg1: 22427-39-0 Ginsenoside Rb1: 41753-43-9 Ginsenoside Rb2: 11021-13-9 Ginsenoside Re: 52286-59-6 Ginsenoside Rc: 11021-14-0 Ginsenoside Rf: 52286-58-5
分子式	ジンセノサイド Rg1: C42H72O14 ジンセノサイド Rb1: C54H92O23 ジンセノサイド Rb2: C53H90O22 ジンセノサイド Re: C48H82O18 ジンセノサイド Rc: C53H90O22 ジンセノサイド Rf: C42H72O14
分子量	Ginsenoside Rg1: 801.01 Ginsenoside Rb1: 1109.29 Ginsenoside Rb2: 1079.26 Ginsenoside Re: 947.15 Ginsenoside Rc: 1079.26 Ginsenoside Rf: 801.01
純度	10.0%-80.0% ジンセノサイド UV
機能	適□症：抗疲労
備考	P. ginsengの一般的な副作用は不眠症ですが、この効果には異論があります。他の副作用には、吐き気、下痢、頭痛、鼻血、高血□、低血□、胸の痛みが含まれることがあります。人参は、抗うつ□と混合したうつ病患者において、躁病を誘発する可能性もあります。人参はフェネルジンやワルファリンとの有害□物反□が示されていますが、血中アルコール濃度を低下させることが示されています。人参抽出物は鼻血、頭痛、嘔吐、高血□、不安、不眠症を引き起こす可能性があります。UMMCは、妊娠中、授乳中、または乳がんの高リスクにある女性は人参を避けるべきだと警告しています。この抽出物は、糖尿病の□、血液凝固防止□、抗うつ□、抗精神病□と□影響を及ぼす可能性があります。さらに、アンフェタミンやメチルフェニデートなどの特定のADHD□を服用している人は、人参を避けるべきです。これらの□の刺激効果を高め、副作用を□加させる可能性があるためです。 一般的なサポートのために、推□される用量は通常、パナックス人参の主要な活性成分であるジンセノシドを4%から7%含む標準化された抽出物200 mgを含みます。生のハーブを摂取する場合、推□される用量は1 gから2 gの範□です。 状態特異的用量 パナックス人参が特定の状態に与える影響を調□した臨床試験では、以下の1日あたりの用量が使用されました。糖尿病、200 mg；勃起不全、3回に分けて2,700 mg；閉□後の女性の性的興奮、3,000 mg；風邪とインフルエンザの予防、100 mg。